



平成29年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年11月13日
上場取引所 東

上場会社名 星光PMC株式会社
 コード番号 4963 URL <http://www.seikopmc.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 滝沢 智
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 岡 真 TEL 03-6202-7331
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第3四半期の連結業績（平成29年1月1日～平成29年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第3四半期	18,224	0.3	1,539	△12.8	1,722	3.3	1,386	1.5
28年12月期第3四半期	18,178	△0.9	1,765	92.6	1,667	76.7	1,365	68.3

(注) 包括利益 29年12月期第3四半期 1,551百万円 (18.8%) 28年12月期第3四半期 1,305百万円 (67.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第3四半期	45.73	—
28年12月期第3四半期	45.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第3四半期	31,271	22,810	72.9
28年12月期	30,113	21,623	71.8

(参考) 自己資本 29年12月期第3四半期 22,810百万円 28年12月期 21,623百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期	—	6.00	—	6.00	12.00
29年12月期	—	6.00	—	—	—
29年12月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成29年12月期の連結業績予想（平成29年1月1日～平成29年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,230	△0.5	2,000	△13.1	2,180	△5.8	1,740	△3.0	57.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年12月期3Q	30,743,604株	28年12月期	30,743,604株
② 期末自己株式数	29年12月期3Q	422,028株	28年12月期	421,868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年12月期3Q	30,321,705株	28年12月期3Q	30,321,782株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が続き、設備投資が堅調に推移するとともに個人消費にも持ち直しがみられる中で、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループの主要販売先である製紙業界、印刷インキ業界におきましては、総じて需要が伸び悩むなど、不透明な経営環境が続きました。

当社グループは、高品質化・生産性の向上や環境保護・省資源等、販売先業界の経営戦略に対応した差別化商品を市場に投入し売上増加に努めた結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は18,224百万円（前年同期比0.3%増）となりました。

利益面では、化成品事業は順調に推移いたしました。他事業の売上高の減少や原料価格の値上がりの影響などにより、営業利益は1,539百万円（前年同期比12.8%減）となりました。また、経常利益は為替差損が為替差益に転じたこと、新綜工業股份有限公司の株式取得に伴う持分法による投資利益などにより1,722百万円（前年同期比3.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,386百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

・製紙用薬品事業

製紙業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の紙・板紙の国内生産は1,976万トンと前年同期比0.8%の増加でありました。需要が伸び悩む中、当社グループは、国内市場、海外市場へ差別化商品の売上増加に努めましたが、当事業の売上高は、11,535百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

利益面では、原料価格の値上がりの影響などにより、セグメント利益は1,186百万円（前年同期比18.5%減）となりました。

・印刷インキ用・記録材料用樹脂事業

印刷インキ業界におきましては、当第3四半期連結累計期間の印刷インキの国内生産は25万トンと前年同期比2.3%の減少でありました。需要が減少傾向となる中、当社グループにおいては、オフセットインキ用樹脂の売上高は減少いたしました。フレキソ・グラビアインキ用樹脂の売上高は前年同期並みとなり、記録材料用樹脂の売上高は増加いたしました。その結果、当事業の売上高は、3,811百万円（前年同期比1.4%減）となりました。

利益面では、製品販売構成の高付加価値化の進捗はありましたが、売上高の減少の影響などにより、セグメント利益は213百万円（前年同期比12.8%減）となりました。

・化成品事業

化成品事業の売上高は、主力製品の輸出が順調に推移したことにより2,878百万円（前年同期比4.1%増）となりました。

利益面では、売上高の増加などにより、セグメント利益は417百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における当社グループの財政状態は以下の通りとなりました。

(流動資産)

現金及び預金の増加、受取手形及び売掛金の増加、商品及び製品の増加、及び短期貸付金の減少などにより流動資産は19,751百万円（前連結会計年度末比67百万円増）となりました。

(固定資産)

新綜工業股份有限公司の株式取得による投資有価証券の増加、及び有形固定資産の増加により固定資産は11,520百万円（前連結会計年度末比1,091百万円増）となりました。

(流動負債)

支払手形及び買掛金の増加、その他の流動負債の増加、及び賞与引当金の減少などにより流動負債は7,519百万円（前連結会計年度末比138百万円増）となりました。

(固定負債)

退職給付に係る負債の減少により固定負債は941百万円（前連結会計年度末比167百万円減）となりました。

(純資産)

親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、及び剰余金の配当などにより純資産は22,810百万円(前連結会計年度末比1,187百万円増)となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.9%となりました。また、有利子負債残高830百万円を自己資本で除した倍率(D/Eレシオ)は0.04倍となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月8日公表の業績予想に修正はありません。通期の業績見通しにつきましては、売上高は前期比0.5%減の24,230百万円、営業利益は同13.1%減の2,000百万円、経常利益は同5.8%減の2,180百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は同3.0%減の1,740百万円を見込んでおります。

なお、業績予想は現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断したものであり、実際の業績等は様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,361,047	1,634,685
受取手形及び売掛金	10,319,051	10,571,063
電子記録債権	595,793	580,528
商品及び製品	1,938,939	2,043,206
仕掛品	353,212	344,637
原材料及び貯蔵品	898,403	971,532
短期貸付金	3,716,267	3,017,022
その他	511,628	596,044
貸倒引当金	△10,330	△7,259
流動資産合計	19,684,012	19,751,460
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,497,220	2,411,192
機械装置及び運搬具(純額)	1,718,763	1,843,359
土地	4,472,035	4,472,035
その他(純額)	365,296	452,467
有形固定資産合計	9,053,316	9,179,055
無形固定資産	95,371	102,548
投資その他の資産		
投資有価証券	1,115,100	2,032,981
その他	212,902	253,279
貸倒引当金	△47,565	△47,559
投資その他の資産合計	1,280,438	2,238,702
固定資産合計	10,429,127	11,520,307
資産合計	30,113,139	31,271,767

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,579,171	3,844,986
短期借入金	830,000	830,000
未払法人税等	411,535	202,163
賞与引当金	555,165	344,095
その他の引当金	—	38,467
その他	2,004,727	2,259,737
流動負債合計	7,380,599	7,519,450
固定負債		
役員退職慰労引当金	15,925	15,925
退職給付に係る負債	823,328	594,932
資産除去債務	84,345	85,146
繰延税金負債	170,409	232,473
その他	14,878	13,082
固定負債合計	1,108,886	941,559
負債合計	8,489,486	8,461,010
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	1,566,178	1,566,178
利益剰余金	18,257,223	19,279,869
自己株式	△104,834	△105,028
株主資本合計	21,718,567	22,741,019
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	416,553	501,176
繰延ヘッジ損益	1,348	1,785
為替換算調整勘定	108,784	142,515
退職給付に係る調整累計額	△621,601	△575,739
その他の包括利益累計額合計	△94,914	69,737
純資産合計	21,623,652	22,810,757
負債純資産合計	30,113,139	31,271,767

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
売上高	18,178,317	18,224,984
売上原価	13,142,482	13,307,560
売上総利益	5,035,835	4,917,423
販売費及び一般管理費	3,269,922	3,378,408
営業利益	1,765,913	1,539,015
営業外収益		
受取利息	7,793	8,921
受取配当金	15,883	16,965
仕入割引	10,616	9,636
為替差益	—	714
受取保険金	39,679	—
持分法による投資利益	—	120,473
その他	35,186	38,573
営業外収益合計	109,159	195,284
営業外費用		
支払利息	3,054	2,173
売上割引	4,012	3,936
為替差損	189,130	—
その他	11,842	5,439
営業外費用合計	208,040	11,549
経常利益	1,667,032	1,722,750
特別利益		
固定資産売却益	513	—
負ののれん発生益	77,822	—
投資有価証券売却益	29,031	77,696
特別利益合計	107,366	77,696
特別損失		
固定資産除却損	8,502	10,330
特別損失合計	8,502	10,330
税金等調整前四半期純利益	1,765,896	1,790,116
法人税、住民税及び事業税	481,219	451,618
法人税等調整額	△80,912	△48,008
法人税等合計	400,306	403,610
四半期純利益	1,365,589	1,386,506
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,365,589	1,386,506

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	1,365,589	1,386,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△39,008	84,622
繰延ヘッジ損益	1,420	437
為替換算調整勘定	△72,322	11,483
退職給付に係る調整額	50,278	45,861
持分法適用会社に対する持分相当額	—	22,247
その他の包括利益合計	△59,632	164,652
四半期包括利益	1,305,957	1,551,158
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,305,957	1,551,158
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	11,546,841	3,865,105	2,766,371	18,178,317	—	18,178,317
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	38,555	456,880	7,721	503,156	△503,156	—
計	11,585,396	4,321,985	2,774,092	18,681,474	△503,156	18,178,317
セグメント利益	1,455,151	245,095	367,226	2,067,473	△301,560	1,765,913

(注) 1. 売上高の調整額△503,156千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△301,560千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	製紙用 薬品事業	印刷インキ 用・記録材料 用樹脂事業	化成品 事業	合計	調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高						
(1) 外部顧客に対 する売上高	11,535,157	3,811,022	2,878,804	18,224,984	—	18,224,984
(2) セグメント 間の内部売 上高又は振 替高	40,053	398,089	7,170	445,313	△445,313	—
計	11,575,211	4,209,111	2,885,974	18,670,297	△445,313	18,224,984
セグメント利益	1,186,630	213,737	417,566	1,817,934	△278,919	1,539,015

(注) 1. 売上高の調整額△445,313千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益の調整額△278,919千円は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。